



- P 2 12月議会概要、賛否一覧
- P 3～14 一般質問で町政を問う
- P 15 最近の議会活動、議会広報研修会
- P 16 要望書、編集後記

令和3年 **12** 月議会
第**67**号

議会だより

■ 標題は白石小学校5年坂口寧々さんの作品です
さかぐち ねね



■ 標題は福富小学校1年境梨柊さんの作品です。テーマは「ガリバー旅行記を読んで」
さかい りんか



一般質問をYouTube動画配信！

令和3年12月議会の一般質問の動画をスマートフォンやタブレットで視聴できるようになりました。

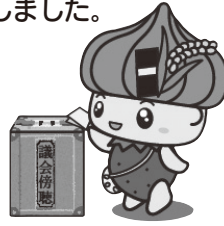
一般質問のページをお開きいただき、QRコードを読み取りください。

12月定例議会概要

12月定例議会は、12月10日から17日まで8日間の日程で行いました。

町長から、補正予算や条例改正、教育委員の任命など、追加議案を含め16件の議案が提出され、各議案は本会議での審査を得て、すべて承認、可決、同意しました。

一般質問は12人が行い、豪雨被害対策、ワクチン接種、人口減少対策、スポーツ振興、まちづくりなどについて、執行部の考えを質しました。



令和3年12月議会定例会には、22人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！

賛否一覧

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

	議案番号		結果	吉岡正博	岸川信義	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫
10月臨時会	42	専決処分の承認（令和3年度一般会計補正予算（第4号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	令和3年度一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	令和3年度総合運動場整備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月臨時会	45	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	46	議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例及び町長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
12月定例会	47	専決処分の承認（令和3年度一般会計補正予算（第6号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48	過疎地域持続的発展計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	52	固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54	町立学校設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	56	杵東地区衛生処理場組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	教育委員会教育長の任命（北村喜久次氏）	同意	無記名投票による採決														
	58	教育委員会委員の任命（堤王宏氏）	同意	無記名投票による採決														
	59	令和3年度一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61	令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62	令和3年度一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



※学校設置条例の一部改正案の採決

問 近年の異常気象による大雨対策で、クリークゲートの一斉排水の条例化は

答 上流・下流の地域の連携が図れるようにし、防災・減災につなげたい

議員 大雨が予想される際の、ゲート開閉における呼びかけと事前排水の基準は。

農村整備課長 事前

排水は嘉瀬川ダムからの農業用水供給が始まった平成26年から取り組み、防災行政

無線での呼びかけを平成29年から行っている。

佐賀地方気象台発表の「早期注意情報」とは、大雨などの警報級の発生が予想されているとき「早期注意情報」で「高」・

「中」の2段階で発表される。

「高」の予報がなされた日の前日までに、最新の防災気象情報に留意し、関係各課と協議を行い、自然排水が利く干潮時刻も考慮し、排水調整員の作業が日中できるように配慮しながら早めの放送に努めている。豪雨予想時は、カマチの天端高より下げて排水して戴くよう依頼するが、作付け体系で判断しながらの排水となっている。

議員 ゲート操作員の方は大変なご苦労がありまた、繊細な気配りが感じられる。豪雨（災害）が予想される際、町内500万tもの貯水量を誇るクリークの有効利用のためのゲート操作を、

町が指示・発令できる基準（条例）を作るべきではないか。

農村整備課長 豪雨が

予想される時は、直接役場から個別に操作員へ連絡し、対応ができない場所は職員が直接排水操作を行っている。ゲート操作員の高齢化や担い手不足等の問題がある中で、今年流域治水推進事業が進められているので、白石土地改良区や用・排水調整会議等で協議したい。浸水や冠水の被害を軽減するには、地域の水の状況を町民みんなで共有することが大事。上流・下流の地域の連携が図れるよう調整役として問題を協議・検討しながら防災・減災へつなげていきたい。

問 特色あるまちづくりと人材育成は

答 町民や各種団体などと協働による持続可能なまちづくりを推進したい

議員 第3次白石町総合計画で議論されているが、方針と方向性は。

企画財政課長 第2

次総合計画の基本理念を継承し、『人と大地がうるおい輝く豊穡のまち』を目指す。災害への対応や学校教育の充実、人口減少対策として定住促進、子育て支援などの施策は重点施策として取り組む。行政のみではなく町民や各種団体など、多様な主体により、協働による持続可能なまちづくりを推進したい。

町づくりの一端を担い、人材育成にも大きく寄与するのでは。

保健福祉課長 幼児

期における早期英語環境導入は非常に魅力があるが、幼稚園・保育園に於いても各園で独自の保育・教育活動を展開されている。また財政上の問題もあり、町としては、各園と協力調整しながら子どもの学びをサポートしていきたい。



定松 弘介 議員





吉岡 英允 議員

問 内水氾濫の原因は

答 干潮時においても六角川本川の水位が下がらず、排水能力が追い付けなかった

議員 本年8月の豪

雨災害の中で特に家屋の被害、農作物の被害は。令和元年8月豪雨と比較は。

総務課長 床上浸

水、床下浸水共に一昨年より多い。

特に住家の床上浸

水は一昨年の20件に

対して今回は55件となっており、2倍以上の床上浸水被害が発生している。

農業振興課長 農作

物の被害は令和元年8月豪雨では被害額が3,760万円です。

あったが、本年8月豪雨被害額は、4億2,755万円。

議員 内水氾濫の原因の検証結果は。

建設課長 特に白石

校区、六角校区、須古校区の被害が大きかったように思われる。二度の大雨で言える事は、六角川本川において上流からの流量が増えたことにより干潮時においても六角川本川の水位が下がらず、排水能力が追い付けないことにより内水氾濫が発生したと考えている。

議員 罹災証明の発

給件数はどれくらいあるのか。また、武雄市の「復興支援ガイドブック」のように町民に対する支援メニューはいち早く紙面にて開示したほ

うが良いのでは。

総務課長 罹災証明

書は住家の床上浸水で53件、住家の床下浸水で12件、非住家の床上浸水25件、合計90件発行している。他にも被災証明書は77件発行している。

今後、支援策一覧の紙面による公表などわかりやすい情報提供に努めていく。



問 直ちに取り組む短期的な対策は

答 流域治水推進事業の中で検討する

議員 中長期的な視点

に立って行う対策は。

建設課長 六角川に

頼らず、排水先を有明水路や有明海に分散し六角川沿線地域の減災につなげるための県の「流域治水対策推進事業」を活用し治水対策を策定中である。排水先の分散を図るために、排水機の増設、排水路の機能強化、一時貯留池の整備などを検討する。

議員 浸水・冠水被害

対策の件については、各地域から多くの要望書が提出されているが町はどのような受け止めているのか。

また、9月議会の

終了後に議会から町長へ要請書を提出したところである。直ちに取り組む短期的な対策は。

町長 8月の大雨後

に、浸水された須古校区、白石校区、深浦地域から水害対策について要望書を頂いている。流域治水推進事業の中で検討を行い早期対策を行うように考えている。今の段階で言えることは事前排水をしつかりとやって頂きたい。そのためには役場職員も現場に出て行って調整をしていきたい。



溝口 誠 議員

問 新型コロナウイルスワクチン接種の状況は

答 医療機関、町民の協力により順調に接種が行われた

議員 現在における

ワクチン接種状況は。

保健福祉課長 3月

中旬より医療従事者優先接種が行われ、4月26日から高齢者施設入所者と施設の

従事者へ。5月10日からは75才以上へ。

5月24日から白石町総合センターにて集団接種も開始した。順次若年層へとワクチン接種が進み、令和3年12月12日現在

の接種対象人口に対する接種率は1回目

が87・17%、2回目

が86・05%と目標以上の接種率となった。

議員 これまでの接種における取り組みから浮かび上がった課題や問題点はどうだったのか。

保健福祉課長 国に

おいてもワクチンの不足やシステムの追加など情報提供が遅れ混乱があり、予約の取りづらさや若い世代の方への接種を待ちいたたこととなった。個別接種は各医療機関のご協力によりスムーズに行うことができた。また、集団接種についても皆様のご協力により接種業務を

行うことができた。

年代別の接種率は20歳代では70%台、39歳では70%台、12歳19歳では60%台となっており、高齢世代より低くなっている。若い世代の中でも比較的接種率の低い小中学生の接種がもう少し進めばと思っている。

議員 3回目接種に向けての計画はどうするのか。

保健福祉課長 3回目接種の対象者は、ワクチン2回接種完了者で2回目接種から原則8箇月以上経過し、18歳以上の方に順次接種券を発送していく。個別・集団接種と合わせて行いたいと考えている。

問 令和4年度の予算編成にあたり編成方針と重点施策のとりくみは

答 教育環境充実と水害に有効な流域治水対策などに力を入れていきたい

議員 令和4年度の

予算編成にあたり編成方針と重点施策の取り組みはどのようなか。

町長 厳しい財政状

況の中、既成概念にとらわれず、思い切った合理化・効率化を行うなど徹底したコスト意識の下にメリハリのある予算編成が必要である。特に教育環境の充実と水害に有効な流域治水対策事業には力を入れて参りたい。



●産業建設常任委員会による須古川排水機場現地調査



前田 弘次郎 議員



問 20年間の人口減少の現状は

答 20年間で22・3%の減少

議員 10年後、20年後の将来を見据えた対応策は。

町長 若い世代が自らの希望に沿って、白石町で生活し、結婚・出産・子育てができる環境を整える必要がある。子育て世帯や若い女性から

居住地として選んでもらえるような町を目指し、子育て・出産支援を充実させ、子育て環境をこれまでに以上に整備する必要がある。

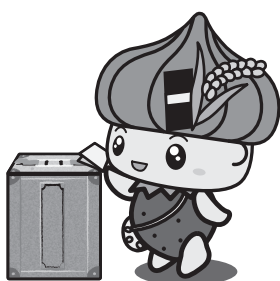
問 交通弱者に配慮した投票場の在り方は

答 いこカーや予約制いこカーの利用を周知している

議員 長浜地区と牛間田地区で期日前投票所が設置されたが、その結果と今後の考えは。

総務課長 古渡公民館で38名、牛間田公民館で54名が投票された。

今回の結果を踏まえて、平日の投票者が伸びなかったため、土曜日から日曜日のどちらか、1日間の設置が有効ではないかと考えている。



問 豪雨災害時の避難行動要支援者の安否確認

答 民生委員の方々が声掛け等を行っている

議員 8月の豪雨での被害状況を職員が現地に出向いて聞き取りした状況は。

税務課長 罹災証明書交付に伴う現地調査の際は、被災町民と言葉を交わし、被災者としての意見、要望や近隣世帯の被害状況を積極的に収集している。基本ベ-

スにない被災世帯への訪問や、他の課所管の業務の案内や現地での被災者の問い合わせ等についても、関係課に内容を伝え連携して連絡等を行っている。今後も災害発生時は町民に寄り添い迅速に対応していく。

議員 牛間田・大谷・竜王・室島地区から、塩田側へ直接強制排水ができる排水機整備の推進を切望されて要望書が提出された、この地区の排水対策は。

建設課長 町としても県と連携し、町でできること、県でできることなど見極めながら、当該地区の内水対策について検討していく。



●杵藤土木事務所への要望



中村 秀子 議員

問 福富IC開通後の「道の駅しろいし」の運営は

答 3月から午後6時まで営業。HPは業者委託

議員 福富ICが開通して、道の駅には多くの来場者がある。その経済的な効果及び道の駅の情報発信の在り方、また今後の営業時間等の経営方針、特に年末年始

にかけての歳末商戦の方針は。また、道の駅から福富マイランド公園に人の流れを作るアイデアとしてドッグランや、スケートボード場を設置してはどうか。

商工観光課長 イン

ターの開通後道の駅の来場者・売り上げ1・4倍となつてい。現在HPはリニューアルのため、更新作業中だが従業員のSNSや出荷者や利用者より情報発信されている。年末はレンコン商戦となる。30本のラジオCMを放送し、混雑回避のため直接店頭販売を計画している。

副町長

現在午後5時までの営業であるが、来年3月から午後6時までとする。これは急に従業員の確保ができないためである。レストランの夜間営業についても同様である。

問 犬・猫の避妊・去勢費用の補助は

答 飼い主の責任であるが、地域猫については県の補助制度を推進

議員 いまやペットは生活に潤いを与える存在である。現在のペットの飼育状況、近隣の市町は補助がある避妊去勢手術の補助は。また、災害時の同行避難の状況は。

生活環境課長

犬の飼育数は1,199頭である。猫は把握していないが犬より多いのではないかと。避妊去勢手術は飼い主の責任で行つてもいい。地域猫については県の「地域猫活動支援事業を推進し対応していきたい。

生涯学習課長

交流人口を取り込む施策として、福富マイランド公園に多目的トレイル、フリーマーケットボード場の整備を含め検討を進めていきたい。

問 管理職への女性の登用は

答 昇任希望者が少なく登用できていない

議員 4年前の質問から状況は変わっていないがなぜか。

副町長

女性職員の昇任希望者が少ない。研修を行うと同時に女性が働きやすい職場環境づくりをした



●町職員研修会「地域と行政職員の関わりを考える」



重富 邦夫 議員



問 しろいし農林水産品のブランド化は

答 首都圏でPRを実施することによりブランド化を図っている

議員 しろいし農林水産品のブランド化対策はどのような行っているのか。

商工観光課長 本町においては、「しろいしブランド」の確立に向けて、町・JA・漁協・商工会・産物

直売所連絡協議会から組織する「白石町特産物PR推進協議会」において活動を行なっている。主な活動は通常であれば、「しろいしみのりちゃん」を使つてのPR活動、玉葱・蓮根に

関しては首都圏において町長とJA幹部によるトップセールス活動、東京都の協力店をお借りしてのPR販売活動、東京都庁での「白石町特産物フェア」により、本町特産物のPRを実施することによって「しろいしブランド」の周知を図っている。

議員 知的財産の保護について町の考えは。

商工観光課長 品質や社会的評価など確立した特性が産地と結び付いている産品について、その名称を知的財産として保護する制度が「地理的表示保護制度」通称「GI」である。ただし、要件である「産品が有する特性やその生産方法等を明確に定める」等の登録するための厳格な条件があるので、関係機関・事業所・生産者と綿密な調整が必要と思われる。



●SAGA こだわりマルシェキャラバン

問 消防団員に中型免許を取得できる助成制度を

答 支援について検討していきたい

議員 消防団員なのに消防車を運転できない団員が増えつつある。本人が所有する普通免許では、消防自動車の重量の関係で運転できないものがある。消防団員の確保を進める中において、団員が中型免許を取得できるような助成制度を創設する必要があるのでは。

総務課長 道路交通法の改正により、準中型免許が創設されたことで、平成29年3月12日以降に取得した普通免許では、車両総重量3・5t未満の車両しか運転できない。

現在、本町が所有する消防ポンプ車、消防積載車のうち4台が3・5tを超え、最も重いもので4・47tとなっている。このことから、現行の普通免許でも運転できるように車両を更新する場合は、車両総重量3・5t未満になるような仕様で更新している。しかしながら、将来的には消防団活動に影響を及ぼす恐れもあることから、まずは団員が保有する免許について調査を実施して、準中型免許等の取得に係る支援について検討していきたい。



友田 香将雄 議員

問 宅地付き農地の活用推進策は

答 宅地の新規開田も一つの手立てだが、課題も多い

議員 農地の集約化

が今後において重要な課題。コの字型農地の状況と今後の問題は。

農業振興課長 宅地

付き農地は耕作しにくい事もあり、今後遊休農地等の増加につながる懸念がある。



町内では宅地跡を新規開田し整備・地目変更を行うことで借受者が見つかった例もあり、今後の一つの方策と考える。しかし、水田活用の直接支払交付金には非該当、隣接農地との合筆不可、農作物共済の水稲引受農地から除外されるなど課題が多い。

問 学校校則の早期改善を

答 各学校では校則の見直しに着手している。

議員

新設中学校の具体的ビジョンは。現状の校則が時代にそぐわない部分がある。早期改善を。

教育長

9年間を見

通した教育・生徒指導、合同授業や部活動での合同練習、出前指導など、小中高の交流を活性化。総合的な学習時間に故郷を学ぶ時間の確保、指導支援として小中の教員の活発的な人事交流、専科指導など構想している。

町長

学校再編につ

いては、学習環境の充実だけでなく住環境、福祉、防災、地域づくりなど多方面から考えていく必要

がある。今後はまち

づくりの観点からも、教育観点からも最善の効果を得られるような将来像を描いていきたい。

主任指導主事

県の教育委員会より校則の見直しについて通知され、本町も各学校に通知している。

各学校では校則の見直しに着手し、衣服の色の決まりや髪型への考え方を変更した例や、変更に向けて生徒の声を拾い上げ検討する動きがある。制定された校則がいつまでも続くという事ではなく、時代や生徒の状況をふまえる事が重要と

考える。

議員

2024以降の二ニュースポーツ振興策は。

生涯学習課長

ポッチャを中心 に 体験会を実施。今後は町内スポーツ大会など、普及啓発していきたい。普及について職員はもちろん、スポーツ推進委員、スポーツ協会、各種競技団体と連携していく。また、「障がい者スポーツ指導員」の資格取得について何らかの支援を検討したい。



吉岡 正博 議員



問 道路整備が沿岸道路周辺集中と不安を聞くが

答 有明沿岸道路の開通に伴う一時的なもの

議員 道路補修等の要望先はどこか。

建設課長 国・県道は県杵藤土木事務所だが、まず町へ。町道は建設課、農道・林道は農村整備課。里道は地元においている。

総務課長 横断歩道

やカーブミラー等は、まず総務課へ。

議員 要望方法は。

建設課長 窓口に連絡を。要望書は、重く受け止める。

議員 葬斎公園への県道は、整備要望のタイミングなので町は積極的に。

建設課長 県に積極的な整備を要望する。

議員 町道等の整備方針は。

建設課長 安全確保、国県道との接続、地元要望等による。

議員 町道等予算が元年度以降減額だが査定方針は。

企画財政課長 財政

状況が厳しく、優先度、緊急度が高い事業から予算配分を行なう。

議員 町内の道路整備が、有明海沿岸道路周辺に集中と他地域の不安をよく聞く。

不安をもたれないよう、町全体の整備計画の住民説明を。

建設課長 県は、沿岸道路開通に合わせて一時的に集中している。町は、町全体の状況や要望で整備している。

整備計画は、見直しもあり断言できない。



●有明海沿岸道路福富I.C

問 「活躍する町職員」の人材確保と育成を

答 社会人経験者は力発揮、特別研修制度について周知し、利用を促したい

議員 町が発展する要素に、「活躍する町職員」の人材確保と育成がある。

採用試験区分「社会人経験者」の職員を、活用しているか。

総務課長 社会人経験者は、民間企業での経験・能力を十分に発揮している。

議員 社会人経験者は、利益を生む発想や行動を持ち込んでほしい。

職員の自己啓発環境として、自主研修や特別研修制度の活用は。

総務課長 自主研修は把握していない。特別研修制度については、周知不足でも

ある。今後、職員に対して周知し、利用を促したい。

議員 それは寂しい。自らの研修が能力や意識を伸ばすので推進を。人事評価制度の活用は。実績公表は公平性確保や人材育成になるが。

総務課長 スキルアップ、モチベーション向上に役立てている。本人通知は検討したい。





岸川 信義 議員

問 事前排水訓練の実施は

答 訓練の実施は難しい

議員 今年8月の豪

雨での事前排水の状

況は。

農村整備課長 防災

行政無線による事前排水の呼びかけを平成29年の出水期から実施している。年々、理解を得ており、協力

していた。地域が増えてきている。旧町境や行政区境において、上下流の連携がうまくいっていない地域に出向き、ゲート操作の連携による排水調整をお願いしていきたい。

議員 8月豪雨災害

における

①天気予報や線状降水帯の信頼性

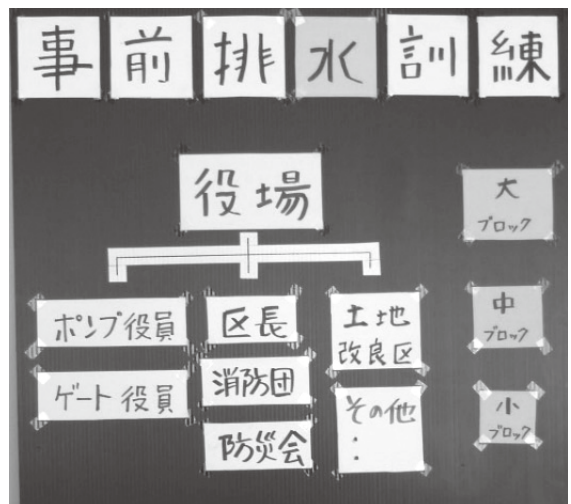
②担当課の対応

③ポンプ及びゲート操作員への連絡はどうであったか

農村整備課長 佐賀

地方気象台が発表する早期注意情報をもとに、警報級の大雨の可能性が高いと予報されている日の前に、総務課・建設課・農村整備で協議している。

事前排水の決定後は、幹線水路の巡視を行い、管理水位が高い所は個別に落水をお願いしている。操作員が操作できないときには、連絡をとりながら職員が直接ゲート操作を行うこともある。



●岸川信義議員持込資料

議員 冬の乾季の時

期に事前排水訓練を実施してはどうか。

農村整備課長 現在

実施している事前排水を訓練と捉えている。農作物の作付状況や防火用水の確保など観点から早急な訓練の実施は難しい。
議員 排水対策専門部署の設置は。
副町長 治水対策は重要課題として取り組むため、組織と部署の充実を考えている。

問 未使用となる商品券をなくすには

答 広報等で周知に努める

議員 全町民に配布された商品券の使用率と最終見込みは。

また、未使用となる商品券をなくすには。

総合戦略課長 11月30日現在における商品券の換金率は約73%。最終的には5%程度の未使用を予想している。未使用を少なくするよう広報等で周知に努める。



議員 須古校区と白石校区

からの要望や議会からの要請にどう答えるのか。

町長 来年、下蓼具・馬田

地区に排水ポンプを設置し、町内の中流部を雨水が少しでも流れ込まないようにしたい。また、ソフト対策の事前排水を100%できるようにしたい。



西山 清則 議員



問 国・県の補助金に頼り切っていないか

答 自主財源に乏しいので積極的に活用したい

議員 本町の各種施策は、国・県の補助金に頼りきった事業となっていないか。

企画財政課長 自主財源に乏しい本町としては、国・県補助金は積極的に活用したい財源である。

議員 本町における公債費比率の今後の見通しは。

企画財政課長 大型事業等、大きな財政需要が控えており、公債費比率は今後数年間増加していくものと考えている。

議員 地域の方々が元気で生きがいを持てるように、ゲートボールやポッチャによる異世代の交流を図るべきではないのか。

生涯学習課長 スポーツでの異世代交流は必要であると考えている。ポッチャについては、今後ある程度普及できた段階で、自治公民館対抗等による大会を検討していきたい。

議員 学校対抗のゲートボール大会を開催できないか。

教育長 学校対抗の件についても今後学校再編による学校間の交流事業等に絡めながら一つの手段として検討していきたい。

議員 本町の発展の

ためには、農業の振興は欠かせない。これからの農業の方向性はどの様に考えているのか。

農業振興課長 担い手の経営規模の拡大や経営の多角化を図り、稼げる農業者を増やすことで、産地の維持、農業人口の増加を目指す必要があると考える。

議員 露地野菜などの新品种の開拓、農産物の販路開拓は。

商工観光課長 現在、道の駅出荷者で杵島

農業改良普及センターの指導のもと「ほおずき」を新たな品目とすべく試験栽培が行われている。



問 子どもを産んで育てやすい町にするには

答 子育て環境をこれまで以上に整備する

議員 福富・C開通により利便性が向上した。本町への移住促進、住宅地の開発・分譲地の建設は。

総合戦略課長 若い世代の定住や人口流入はある程度、期待される。この機会を好機と捉え、若い世代の流出抑制、定住促進に取り組んでいきたい。

議員 農産物の物流拠点として、物流センターの設置の考えは。

総合戦略課長 生産立地型の物流センターが整備されれば、配送にかかる時間やコスト削減でき、リスク回避や安定的な供給にも寄与できる。しかし、アクセス道路の整備や社会資本整備への多額の投資などの問題もあり、慎重に判断する必要がある。

議員 子どもを産んで育てやすい町にする町長の考えは。

町長 子育て世帯や若い女性から居住地として選んでもらえるような町を目指し、子育て・出産支援を充実させ、子育て環境をこれまで以上に整備する必要がある。今後は、移住・定住を今まで以上に促進させ、若者世代の人口増加や合計特殊出生率の向上などに繋げていく。



内野 さよ子 議員

問 須古城の国史跡指定に向けた課題解決は

答 令和4年度から国・県の補助事業で進める

議員 須古城の国史跡

指定に向けて、龍造寺隆信時代の遺構がどの程度残っているかなど解決に向けた課題は。
生涯学習課長 令和2年度に文化財専門職員1名を増員した。令和4年度からは国県

の補助事業となる。令和4年度は地形測量図の作成。5～8年度は発掘調査。9年度には報告書作成、10年度に文化庁へ申請書提出予定である。有識者会議の立ち上げに向けて準備中である。

問 緊急的浸水対策が必要では

答 まず、排水ポンプを西田樋管に増設・馬田樋管に新設する

議員

六角川沿線では抜本対策と緊急対策が必要では。

町長

来年度早々、流域治水推進プラン

の中で様々な分析を行いハード・ソフト面等総合的な抜本的排水計画していきたい。早期対策として、西田樋管（下蓑具）と馬田樋管に排水ポンプを増設する予算を今議会の補正予算で計上した。

議員

ため池の防災治水の活用は。

農村整備課長

町内には13箇所のため池がある。

多面的機能として農地・農業用施設等への被害軽減のため



治水機能もあり、大雨予想時には水位調整をしていただいている。

議員

六角川をショートカットする分水

路計画は、地元には詳しい説明がなく不安と聞いているが。

町長

昨年ボーリング調査がなされたが、河川事務所からは分水路計画の位置確認の予備調査と聞いている。

問 女性や若者が地域参加できる仕組みづくりは

答 地域にはたくさんの人たちが参加する仕組みが必要

議員

町内の女性団体で連絡会をつくり、会員減少等について

町長

地域に住む誰もが男女問わず様々な分野に参加し、役割を担い、連携協力

していける地域づくりを進めていきたい。

議員

持続可能なまちづくりのために女性や若者を育成する仕組みが必要では。

町長

これまでの様に、地域での役職を男性だけで担うのは難しくなる。たくさん



●協働による地域づくり検討委員会

の人達が参加できるような仕組み、意識の高揚が必要である。



草場 祥則 議員



問 福富I・Cが開通したことによる、「道の駅しろいし」への効果は

答 売上額、レジ通過者とも1・4倍に増加

議員 福富I・Cが開通し、「道の駅しろいし」へも多くの車が来場されたことにより、売り上げにも大きく寄与したのではと思う。

ついては、「道の駅しろいし」にどのような効果があったのか。

商工観光課長 平日の平均売上額は、約102万円、平均レジ通過者数は632人となっており、売上額・レジ通過者数ともに約1・4倍増加している。

土日と祭日は、平均売上額は、約181



●賑わう道の駅しろいし

万円、平均レジ通過者数は1,100人となっており、平日同様、売上額・レジ通過者数ともに約1・4倍に増加している。

議員 道の駅しろいしの発展をきっかけとして、これから農家やその出荷者に対して、その利益を還元し地域や経済に対しても大きく寄与していくことを期待している。ついては、出荷者に対して還元される利益は。

商工観光課長 あくまでも試算だが、今後順調に前年対比1・4倍の売上となった場合、令和3年度の農産物直売所の売上は少なくとも総額5億円程度となり、販売手数料を除くと約4億円が出荷者に支払われる計算となる。このように道の駅の販売額増加は、出荷者の経営安定と併せて、地域や経済に大きく寄与しているものと考えている。

問 有明沿岸道路を活かした定住促進は

答 調和のとれた地域形成を進めたい

議員 有明海沿岸道路を活かした定住促進と、その沿線における土地利用の考え方は。

総合戦略課長 福富I・C沿線の土地利用の考え方については、白石町国土利用計画の構想として、商業機能の強化や良好な景観を形成する生活拠点ゾーン、新規宅地造成を誘導する住宅ゾーンを設定し、福富I・C周辺においては、交通の利便性を考えて、新たな就業の場を確保するための農業関連企業等誘致ゾーンを設定している。人口減少、高齢化社会における土地の適切な利用・管理の在り方を構築

しながら、持続可能で豊かな生活を実現する基盤とすることが重要と思う。

今後、定住促進、企業誘致など農業生産と宅地等との調和のとれた地域形成を進めていきたい。



最近の主な議会活動（10月～12月）

	日	曜	
10月	8	金	牛間田・大谷地区要望書提出対応
	11	月	議会運営委員会 議員例会・説明会
	13	金	六角地域づくり協議会設立準備委員会
	18	月	臨時議会 嬉野市議会行政視察対応
	19	火	政経懇話会・政経セミナー 10月合同例会
	20	水	佐賀県町村議会議長行政視察（～21日）
	29	金	佐賀県西部広域環境組合 10月組合議会

	日	曜	
11月	4	木	佐賀県町村議会議長会議 杵島郡スポーツ推進委員協議会理事会 白石町協働による地域づくり検討委員会
	10	水	白石校区より要望書提出対応 議員例会、説明会 同和問題市町講座 総合計画審議会
	12	金	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会代表者会議、地区会議
	15	月	全国過疎地域自立促進連盟定期大会、理事会、定期総会
	16	火	商工会との地域問題懇談会
	17	水	六角地区地域づくり協議会設立準備委員会
	18	木	政経懇話会 政経セミナー
	19	金	地域福祉計画策定委員会 佐賀県町村議長会議会広報研修会
	20	土	佐賀県スポーツ推進委員実技研修会
	22	月	杵束地区衛生処理場組合議会定例会

	日	曜	
11月	24	水	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会、本会議 シルバー人材センター要望書提出対応 差別の現実学ぶ研修会 JAさがしろいし要望書提出対応
	25	木	白石町社会教育委員会及び公民館運営審議会
	26	金	第65回議長全国大会（25日～27日）
	29	月	議会運営委員会 臨時議会
	30	火	白石町商工会要望書提出対応、白石身体障害者要望書提出対応

	日	曜	
12月	1	水	全国学校給食甲子園応募メニューの給食試食会 白石町総合計画審議会
	3	金	国民健康保険運営協議会
	5	日	白石町教育の明日を考える集会
	10	金	12月定例会（17日まで） 開会
	12	日	六角地域づくり住民参加ワークショップ
	13	月	議案審議
	14	火	議案審議
	15	水	一般質問
	16	木	一般質問
	17	金	一般質問 閉会 協働による地域づくり検討委員会
	21	火	社会福祉協議会理事会
	22	水	白石町文化振興財団理事会・評議会
	23	木	地域福祉計画策定委員会
	24	金	障がい者基本計画策定委員会
	28	火	社会福祉協議会評議員会

「住民に信頼・共感される広報紙づくり」について学ぶ

11月19日（金）、議会広報研修会が佐賀県市町会館にて開催された。「住民に信頼・共感される広報づくり」についてエディター・広報アナリストである吉村清氏の講師より指導があった。

研修会では、議会広報は定例会にこだわらず、住民にとって重要なものをピックアップするなど、イラストや写真を取り入れて住民にわかりやすく簡潔にまとめることの大切さを学んだ。

また、多くの世代に関心を持っていただけるように動画でも視聴できるように工夫をした方がよいとの指導があった。

早速今回から QR コードを取り入れ、一般質問の様子をスマートフォンからも視聴できるようにしました。

これからも議会広報の充実に努めていきます。





要望書を受け取りました

●深浦地域の水害対策に関する要望

提出者 大谷地区区長 相浦勝美
牛間田地区区長 小川啓一郎

●白石校区水害対策についての要望

提出者 白石校区区長会長 秀島正洋

●シルバー人材センター事業維持のための補助金の要望

提出者 (社)白石町シルバー人材センター
代表理事 淵上忍

●令和3年8月豪雨の災害対策にかかる要望

提出者 佐賀県農業協同組合杵藤エリア
代表理事専務 江島保昌

●令和4年度白石町商工業振興対策費補助金の要望

提出者 白石商工会会長 坂口誠

●町内業者への工事等発注並びに定住促進に関する要望

提出者 白石商工会建設工業部門
部会長 黒岩直幸

●ふれあい郷爽明館の多目的トイレ及び更衣室の設置についての要望

提出者 白石町戸ケ里 川崎紀子 ほか346名

編集後記



新年明けましておめでとうございます。
令和の時代に入り、早3年が過ぎました。
昨年は、引き続き新型コロナの影響や、大雨災害により白石町をはじめ、県内多くの地域が甚大な被害に見舞われ、常に不安の付きまとう1年でした。

議会としても、新型コロナ対策や、早期の復興に尽力すると共に、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりに精進して参ります。

今後とも議会活動を通じ、町民の皆様の不安を少しでも払拭し、今年こそ明るい気持ちで生活できるよう議員一同、努力を重ねて参ります。今年も1年よりしくお願い致します。(重富)

議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

第32話「総選挙」



※衆議院議員の全員を選ぶために行われる選挙のこと。小選挙区選挙と比例代表選挙により選ばれます。



白石町議会だより/第67号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会
責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

編集委員/委員長 定 松 弘 介
副委員長 友田 香 将 雄
委 員 中 村 秀 子
〃 重 富 邦 夫
〃 岸 川 信 義
〃 吉 岡 正 博